

令和のリーダーを育む！



幼稚 小学

3歳から5歳の「学び」が、こども達とこの国の未来を変えます。

時代が、学習指導要領を変えます。そして、その学習指導要領が、塾を変えます。

戦後教育による学力低下を受けて、各教科の系統性を重視した詰め込み教育時代の「スパルタ的な一斉指導」、詰め込みの反省から学習負担の適正化を図ったゆとり教育時代の「質問呼応型個別指導」と、塾に求められる教育は、学習指導要領に影響を受け変わります。そして、次世代の経済の中核を成すAIやIoTの研究開発と普及で大きく立ち遅れ、危うくなった経済大国の地位を守ることをバックボーンに生まれた「生きる力教育」で、文科省が目指しているのはWWLコンソーシアムや教育再生会議で示されたイノベーティブなグローバルリーダーの育成です。もちろん、グローバルリーダーの育成は、横並びの最低基準に合わせた義務教育ではできません。その育成は、知育教育のプロである塾に委ねられます。よって、生きる力教育時代に、塾に求められるのは「グローバルリーダーの育成指導」です。

「グローバルリーダーの育成」を目指す教育の真髄は、明治5年の欧米の影響を受けて導入された近代教育により、これまで軽んじられた「幼稚小学（就学前教育）」にあります。

グローバルリーダーの育成は、人格ができあがった中高生では遅すぎます。人や学びの根っこは、「三つ子の魂」ではありませんが、人の本能が学びを求める3歳から5歳の間に育まれます。近年、大手塾も盛んに低学年や幼児に触手を伸ばしていますが、それは単なる児童数減少の対策にすぎません。また、既存の幼児教育も、お稽古やゲームやパズルによる感覚教育を主体とした能力開発であり、本能が求めている学びではありません。幼児が求めるのは、人として生きるためのコミュニケーションツールとしての言葉（国語）と論理的な思考力（筋道を立てて考える力）を育む数字（算数）です。

知育教育のプロとしての誇りを取り戻す「幼稚小学」ができるのは、幼児の本能を活かす自読考[®]が実現できるスーパー教育[®]だけです。そして、塾のブラック企業からホワイト企業への転換を実現します。

中高生をメインターゲットに指導されてきた教室にとって、幼稚小学は、未知の領域へのチャレンジとなると思います。が、「案ずるよりも生むが易し」です。【理由①幼児は、本能で学びたがっています。安心安全な環境さえ用意できればひた向きに学びます。理由②家庭環境のまずさで、本来の学びの本能が抑えられているこどもも本能を見極めれば修正することが可能です。理由③スーパー教材なら本能の「自分でやる」を活かして自読考[®]で、驚異的な吸収力をもって小学校の国語・算数の学習が成立します。】そして、何よりもスーパー教育に興味を持たれる保護者様は、教育投資（適正金額）を理解されます。合わせて、自立学習を促進することで人件費率を低減できます。スーパー教育[®]なら、有用な人材の確保に不可欠な「令和のリーダーを育む」という社会的使命をもって、ホワイト企業への転換を図ることができます。



私教育のパラダイムシフト 幼稚小学のすゝめ

時代は、人がつくる。人は、学んでつくれる。

最低基準の義務教育の補完から脱却し、知育教育のプロとしての責務を果たしましょう。

スーパー教育®の使命は、文科省に代わり、教育の目的である「人格の完成」と「有用な人材（グローバルリーダー）の育成」を行い、ビジネスとして顧客である保護者様の願いに応えることです。

そのために、スーパー教育®は、「人」と「学び」の根っこ*を育む幼稚小学（就学前教育）に取り組みます。

*人の根っこ … 母語、そして人格の基盤 学びの根っこ … スーパー飛び級®と学びのセンス

中学生をメインの対象とした、迷走する教育の犠牲者の救済も大事です。しかし、それよりもこれ以上、学習に悩む不幸な生徒をつくらぬ幼稚小学こそ、知育教育のプロである塾が取り組むべきことと思います。幼稚小学は、現行教育の様々な問題を解決し、この国の危機を救う教育の目的と保護者様の願いを実現する唯一の方法です。それに、幼稚小学は、こども達とこの国の未来を変えるだけでなく、私教育（塾）の在り方と教室の運営も変えます。幼児の本格的な国語・算数の学びは、確かに未開の領域です。大手塾や既存の幼児教育では、できません。スーパー教材を持つ我々にしかできません。私教育のパラダイムシフトのために、是非とも幼稚小学へのチャレンジをお願いします。

■ 幼稚小学の特長

● 教育面

- 母語と人格の確立 … 母語の確立過程で吸収される言葉の上に人格の基となる思考力・判断力・表現力が育まれます。
- スーパー飛び級®の実現 … 年少で始めれば、誰でも、いきなり圧倒的な学力を育むスーパー飛び級®が実現できます。
- 学びのセンスの修得 … 学ぶことを大好きにし、「毎日、学ぶ！」ことを悩まないこどもにすることができます。

● 経営面

- ブルーオーシャン … 3歳から5歳を対象とした教育機関で本格的な国語と算数の指導ができることはありません。
- 自立促進 … 自読考®による学習は、1人の先生で10名以上の指導を可能とし、人件費率を低減することができます。
- 幼小中高一貫教育 … グローバルリーダーへ牽引する教育は、優良な保護者を10数年にわたって惹きつけます。

■ 指導のポイント

● 学びの敏感期（特別な感受性）

- 直向きな集中 … 本能が人として成長することを命じます。よって、幼児の学びはどの年齢よりも直向きです。
- 圧倒的な吸収 … 学びにネガティブな感情を持ちませんから、知識や技能を驚くほどの吸収力で習得します。

● 本能を学びに活かす

学びに関わる本能の順位 ①生きる（食べる、身を守る） ②人として成長する（学ぶ） ①が働く②は、止まります。

- 絶対に教えない（構わない） … 教えられることは、構って貰うです。それは、幼児に守って貰うと同じ感覚を与えます。
- 信頼の構築、そして望む方向を示す … 本能は、守ってくれる人の意向に従います。だから、幼児を指導するためには、まず信頼関係の構築が重要です。そして、それができたら望む方向を明確に示します。

● 誉める・聴く、そして信じる（認める・期待する）

スーパー教材の自読考だからできる肯定的な言葉のシャワー（認めること）で、こどもに自信と心地良さを、そして未来のリーダーを苦境で支える精神的支柱を構築します。また、心の底から信じられれば、こどもは裏切れなくなります。逆に、期待に沿おうと努力します。だから、心の底から信じること（期待すること）で、動かします。

● 教材力を活かす

道理や理屈が通用しない幼児に、教える（押し付ける）教育は、するべきではありません。幼児の国語・算数の学びは、自分の意志で読んで考える学習でなければいけません。スーパー教育の選定教材は、一般的な塾販教材とは異なります。最大の特長は、元々が家販教材ですから「教えてくれる先生はなく、自分で学びを進めて行く」ことを想定して作成されていることです。したがって、学びの寄り添いがあれば、一人で学びを進めて行くことができます。キッズ教育の成否の80%は教材力で決まります。

■ 生徒募集

● 授業を起点として

- 保護者が通わせたいくなる … スーパー飛び級®をガンガン仕掛けることで、教育投資とママ友への口コミを誘発する「わが子は、特別！」の思いを保護者に抱かせます。
- こども達を通いたくなる教室 … こども達を通いたくなる教室とは、自分が認められる環境です。肯定的な言葉のシャワーを浴びせることで実現します。

● 積極的に攻める

わが子の未来を考えない保護者はいません。これまでの教育の対極をなすスーパー教育®の処方箋なら、保護者の納得と賛同とそして協力を得ることができます。

- 保護者説明会 … 教育個人相談会や少人数（1名～3名）での、スーパー教育®説明会を根気よく繰り返します。
- 教育講演 … 学童や保育園や幼稚園などで、こども達の未来をスーパー教育®で描きます。

春季セミナーご案内

コロナの収束がまだ見えませんが、4月に「最新のスーパー教育®」をお伝えする春季セミナーを開催したいと思います。

日時、および会場などは決まり次第、各教室、グループ代表にメールでご案内させていただきます。

新学期を迎え、ご多忙な時期と思いますが、ご参加のほどよろしくお願い申し上げます。